

NDロードスターにスイッチして2年目のシーズンになりますがST-5クラスは3台のNDロードスターが増えて熟成されたホンダフィットと共に激戦クラスになりました。今季はチーム体制も一新して自社でメンテナンスからエンジン製作まで一貫して行うことで信頼性を高めていきます。ドライバーはAドライバーに村上。Bドライバーに脇谷選手とロードスターのスペシャリストで1年間戦います。もてぎはストップ&ゴーのコースレイアウトでFF車でパワーがある車両が有利ですのでロードスターには厳しいコースです。



3月31日金曜日 公式練習

朝一のフリー走行1本目は晴れ。AM8時からコースイン。Aドライバーの村上がまずはアタックして5番手タイムの2分18秒60。脇谷は2分21秒台で安定した走行をします。今回はN1、パーティーレースに参戦中の杉野選手を来季の参戦に向けてテスト&練習をさせました。2本目は決勝想定でドライバー交代と給油を繰り返してスタッフみんなで作業を確認して大きなトラブルなく終了。

4月1日土曜日 公式予選日

AM8時からの予選ですが昨夜からの雨でーフウエットの難しい路面状況。朝一で冷えた路面状況もFF有利な条件ですが決勝に向けて1つでも順位を上げていきたいです。まずはAドライバーの村上。徐々に乾く路面状況を上手く使い最終ラップにベストラップを刻みます。Bドライバーの脇谷も乾く路面を冷静に走り合算タイムでクラス6位で上位5台のFF勢のホンダフィットを追いかけます。 **予選 ST5クラス13台中6位**

4月1日土曜日 決勝

決勝は予選と同日のPM1時過ぎからということでメカも準備に大忙しです。天候は少しずつ回復してほぼドライコンディション。初戦は200分のレースになりますがスタートドライバーは村上が担当。序盤はストレートスピードに劣るので混戦は避けたいところですが上手く上位に付いていき5周目に1台をパスして5位になりそのまま上位に付いていきます。予定通りに80分の走行をして脇谷選手にドライバー交代。安定したラップを

刻んでるうちで上位にマシントラブルがはじめて脱落していきいます。そしてラスト40分でもう1度ドライバーチェンジをしてチェッカーまで予選モードで2位のヴィッツを追いかけます。徐々に差が詰まりますがラスト5周で燃料が厳しいと言う無線が届く。ここで追いつけるのを諦めて後ろとのギャップを確認しながら3位を守りながらマシンを労わることに集中してチェッカーまでドキドキしながら走り抜き3位でチェッカーを受けました。ロードスターが得意ではないコースでの表彰台は本当にスタッフの確実な作業が載せてくれたと思います。

決勝 ST5クラス13台中3位 観客動員数：12,500人

総括 チームオーナー兼ドライバー 村上

台数も増えて激戦になったこと、ロードスターが増えて自分達のチームの真価が問われるレースになるということでプレッシャーもありましたが昨年1年間走らせたデータにより信頼性を高められたことが今回の表彰台に繋がりました。年間6戦の中で初戦をしっかりと走り、表彰台に載れたことで素晴らしいスタートが切れたと思います。また、脇谷選手のS耐久初表彰台も叶えられて本当に嬉しいレースでした。

次戦はロードスターが得意で昨年は優勝した菅生ラウンドですので連続で表彰台に載れる様にしっかりと準備を進めていこうと思います。

